

岩国を 未来へつなぐ



岩国高等学校同窓会東京支部

令和6年 vol.1

はじめに

1880年(明治13年)に旧制岩国中学校が創立されてから、岩国高等学校は144年の時を経て、卒業生は約4万人。今、大きな変革期を迎えています。

来年度から従来の理数科に代わって文理探求科が誕生し、理系・文系それぞれの難関大学を目指すコースが新設されること。そして、制服も一新。男女ともブレザータイプでジェンダーレスに対応した色やデザインの選択肢を増やし、コーディーネートが楽しめる制服になります。

更には令和8年度から、岩国高校の敷地内に新たに県立中学校が開校し、進学に重点をおいた中高一貫教育が行われます。

こうした新しい潮流を前に、同窓会の役割を再確認し、岩国高校の卒業生であることに誇りをもち、郷土岩国の発展、日本の発展に貢献できる人材を育て、また心豊かな暮らしのために知恵や力を出し合いながら、つながりたいと考えています。

この度、各界で活躍される同窓生9名の方にご登場いただき、インタビューや寄稿を中心にした会報誌を発刊いたしました。東京支部独自の制作ですが、岩高同窓会の長い歴史の中でも初めてのプロジェクトです。岩国本部のほか、山口・広島・関西各支部の総会での配布のみならず、本年度在校生や教職員の方々にも配布し、「こんな同窓生がいらしたんだ!」と励みになれば幸いです。

東京と岩国をつなぐ。 岩国を世界につなげる。

そして未来へ、夢をつむいでまいりましょう。

目次

- 2 巻頭インタビュー
光井 純さん(建築家)
- 6 トップ対談
上田 輝久さん(島津製作所) × 安田 忠孝さん(JA全農)
- 10 寄稿…①
「うわのそらの力」 周防 柳さん(小説家)
- 13 寄稿…②
「スタジオジブリのコンピュータ・グラフィックス」
片瀬 満則さん(造形監督/光画監督/CG監督)
- 16 スペシャルインタビュー
岩見屋 錦舟さん(書家) × 弘兼 憲史さん(漫画家)
- 20 インタビュー
山村 浩さん(元海上幕僚長)
- 23 インタビュー
松永 洋子さん(新橋有薫酒蔵 女将)
- 26 寄稿…③
「真の教育者・杉 敏介」
佐古 利南さん(教育者/著述家)
- 33 寄付金・広告協賛金の御礼/寄付者ご芳名

表紙題字 ● 岩見屋錦舟(昭和41年卒)

企画制作 ● 仲村映美(昭和58年卒)

二藤正和(昭和58年卒)

協力 ● 松原春男(昭和58年卒)

貴船和也(平成16年卒)

編集 ● 仲田舞衣

デザイン ● sukodesign

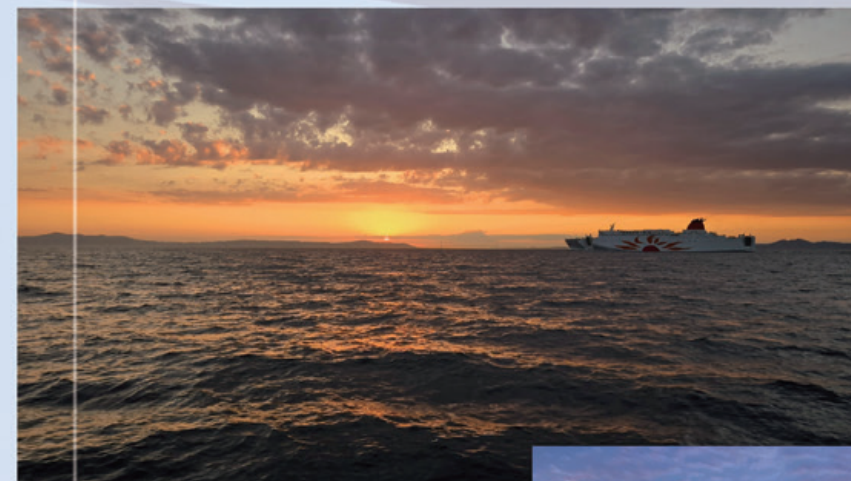
発行 ● 岩国高等学校同窓会東京支部
〒107-0052
東京都港区赤坂 4-4-18-501
Tel.080-4200-0808
info@iwakuni-hs-tokyo.com
https://iwakuni-hs-tokyo.com

2024年10月19日発行 vol.1

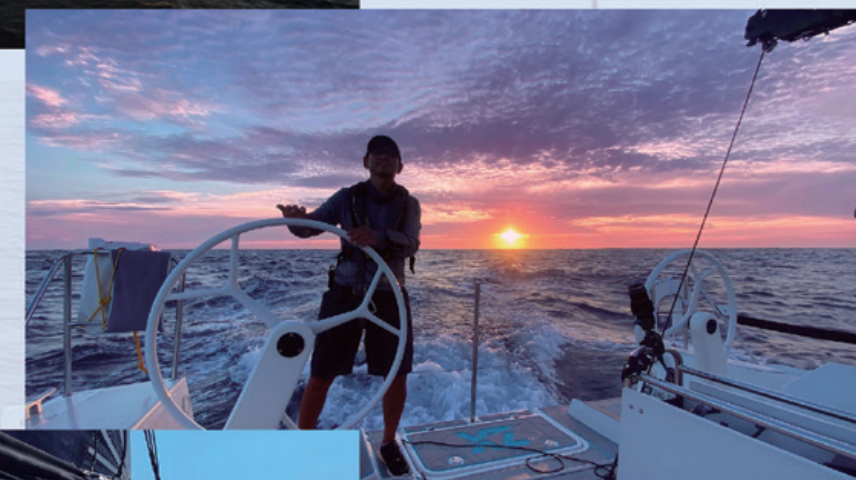
※本誌掲載の記事・写真の無断転載・複写を禁じます。

風とともに過ごす週末

Ocean Nourishment



Cruising Group...



Racing Team...



Various Ways of Sailing

ヨットに乗りたい人とヨットチームとのマッチングサイト



SAILMATCH

<https://sailmatch.info/>



恩師やライバルと出会い 切磋琢磨した学生時代

— 中学校はどう過ごされましたか？

光井 天文学者になりたくて、望遠鏡も自作するほどでした。より高価

で正確な反射望遠鏡が欲しくなり、父に「1学期の期末テストで1番になったら買ってくれ」と交渉。必死で勉強して見事1番になり、夏休みはその望遠鏡で火星や月の写真を撮っていました。その後、成績は元

に戻ってしまいましたが、モチベーションは大事。皆さんも「やりたい」と強く思う何かができればきっと力を発揮できると思いますよ。

— 岩国高校時代の夢は何ですか？

光井 物理学者です。成績は中くらいでしたが、先生方に「お前ならで

きる」と励まされ、最終的には5番ぐらいまで上がりました。恩師との出会いは大きいですね。また、良さなライバルにも出会えた。ある日やってきた転校生が突然1番になったんです。「あいつには負けられない」と、岩国の意地を見せるつもりで頑張っていましたね。

— 東京大学での学生生活は？

光井 東大では物理などを学ぶ理1に入り、1、2年はひたすら教養学科の勉強。ここである程度高い点数を取らないと、3年で好きな学科を選べないんです。フェンシングもやっていて4年のときは国公立大学の日本チャンピオンになりましたし、一方で寮では先輩から麻雀やパチンコに誘われる。もう忙しくて死にそうでした（笑）。

自分の興味と積み重ねが
活かせる建築の道へ

— なぜ建築家をめざしたのですか？

光井 東大には天才的な人がたくさんいて、物理の道はよほどできなくてダメだなと思い、1年間留年して進路を悩みました。そんなとき先輩から建築学科を勧められ、初めて建築家という仕事を知りました。実は建築家はデザイン力だけではなく、エネルギーや日照など理科系の知識も必要。子どもの頃から絵は得意でしたし、理科系の勉強も活かせるのが建築だったんです。

岩陽学舎大学生がインタビュー！

世界で活躍する建築家、 光井 純さんの仕事

2023年11月にオープンした麻布台ヒルズをはじめ、東京国際空港（羽田）第2、第3ターミナルなど日本を代表する建築を次々と手がける光井純さん。岩陽学舎の現役生がオフィスを訪ね、岩国時代の思い出から「まちづくり」へと進化する光井さんの建築への思いをたっぷり伺いました。

岩陽学舎●首都圏の大学に通う山口県岩国・柳井・周南地域出身者のための宿舎。光井氏も舎生OB。

光井 純さん Jun Mitsui ペリクラークアンドパートナーズジャパン 建築設計事務所

Profile

1955年生まれ。川下中学校出身、1973年（昭48）岩国高校卒。1978年に東京大学工学部建築学科を卒業後（辰野賞受賞）、岡田新一設計事務所で4年間勤務し、イェール大学建築学科大学院に進学。1984年にAIA学生賞および最優秀作品賞（HI フェルドマン賞）を受賞して修士号を取得。その後シーザー・ペリ&アソシエーツ（現ペリ クラーク & パートナーズ）米国建築事務所勤務後1992年に帰国し、シーザー・ペリ&アソシエーツ ジャパン（現ペリ クラーク&パートナーズ ジャパン）を創立した。現在は光井純&アソシエーツ建築設計事務所と両社の代表取締役として、また日米両国の登録建築家として国内外の様々なプロジェクトに取り組んでいる。2007年にはAIAジャパンの会長も務め、グッドデザイン賞、BCS賞など受賞多数。



私たちが
行ってきました！

河井風香さん●2003年生まれ。
東中学校出身、2020年（令4）岩国高校卒。
駒澤大学3年生

平中達海さん●2004年生まれ。
東中学校出身、
2021年（令5）岩国高校卒。
神奈川大学2年生



HARUMI FLAG（東京オリンピック選手村）

撮影／光井純

東京国際空港（羽田）第3旅客ターミナルビル

撮影／黒住直臣

—その後、世界で活躍する建築家になられました。どんな下積み時代があったのですか。

光井 まず4年になると、大学院に進むか就職するかという選択肢が現れます。そこで先生が言ったのは「建築は実学だから、実際の仕事を知らないまま大学院に行くより、一度、外に出た方がいい」ということ。卒業後は、最高裁判所を設計した岡田新一さんの設計事務所に就職し、4年間働きました。

一級建築士の資格も取得して経験を積み、そろそろ大学院に行こうと思いはじめたとき、事務所のそばにアメリカ大使館ができた。素晴らしい建物で、調べると設計したのはシーザー・ペリという方で、アメリカ・イエール大学の建築学科の学科長をやっている。そこでアメリカに行くことにしました。

—イエール大での大学院生活は、日本とはどう違うのでしょうか。

光井 日本の場合は教授のリサーチの手伝いをし、建築学の知見を集めるのが主な活動になります。でも

人の故郷になるのが建築
最終的な目的はまちづくり

—「Design with resilience（究極の柔軟性）」という行動理念を掲げておられます。仕事で気をつけていることは何ですか。

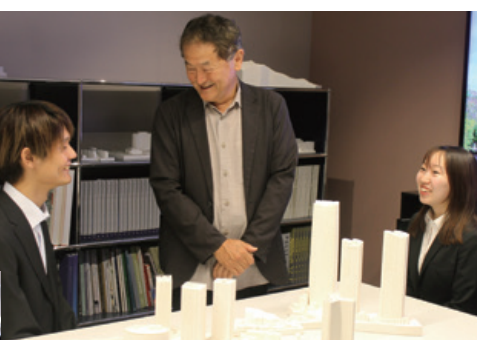
光井 建築は、デザインに自分が出すぎるとうまくいきません。クライアントや地域の人に何を作りたいか聞き、提案し、議論をするうちに、だんだん方向性のはっきりするもの。アイデアが醸成していく過程も建築の面白さです。岩国でも仕事をしていますが、必ず地域の人たちを集めてワークショップをします。

地域の人の思いが置き去りにならないように、建築家は地域の文化やまちの未来像に細心の注意を払う必要があります。建築はそのまちに建つもので、まちを生かし、そして調和する必要があります。しかも巨大で家具のようには動かせず、いったん建つと百年はそこにあり、文化財になるかもしれません。建築や住宅は、そこで育つ子どもの故郷になります。だから一つの建物では完結

イエール大学では、ロースクールと同じプロフェッショナルスクールで、朝から晩まで図面を描きっぱなし。鍛えられましたね。最優秀学生賞もいただき、充実した学生生活でした。卒業後はペリに誘ってもらい、彼の事務所で8年間勤めました。私も彼のところで働きたかったので、タダでもいいから働きたいと言ったのですが、彼は「働くからにはちゃんとお金を払うから、その分プロとしての仕事をしてほしい」と言ったんです。「なるほど、これがプロフェッショナルか」と思いましたね。

—92年に日本に帰国されたきっかけは何ですか。

光井 その頃はバブルで日本の産業に勢いがあり、アメリカの半導体産



河井風香さん

なかなか社会人の方に個別にお話を伺う機会がないので、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。光井さんの様々な経験を聞いて、人との縁を大切にしたい、やりたいことに向かって努力を惜しまず自分から動くことができる人であるという印象を受けました。私も今就活中で様々な人と出会う機会や自分から動かなければならないときが多く訪れますが、光井さんのように人の縁を大事に努力を惜しまず挑戦していきたいと思います。



平中達海さん

光井さんは素直で岩国愛に溢れており、さらには東京大学でフェンシング全国公立選のMVPだったという文武両道には驚かされました。そして、建築士は一個の建物で完結せず、みんなの思いを最良の形で再現することで、結果的に良いまちに繋がるという考え方はとてもかっこいいと思いました。人の出会いを大切に、自分を大切にというお言葉はとても重要だと感じました。自分自身もこれからたくさんの出会いを大切に何事にも努力していきたいです。

せす、そのコミュニティに本当にふさわしいものを作らなくてはいけない。最終的な目的は「まちづくり」。みんなが暮らしやすく、災害に強く、年をとつても暮らせるようなまちを、どうつくっていくか。そこに我々は責任があるのです。それは師匠のペリから学んだこと。次世代にも伝えていきたいと思っています。

—岩国駅前の再開発にも携わっておられます。その構想と、岩国のまちへの思いを教えてください。

光井 図書館やスタジオ、カフェなどが入って賑わう場所をめざし、地元の方と取り組んでいます。4年後に完成予定です。岩国という場所は空港からのアクセスも良く、海の拠点である新港が整備されればさらに強くなります。水深が深いので飛鳥のような豪華客船も泊まれ、良いターミナルをつくれれば地元の物産を売れますし、瀬戸内海ほど美しい海

業などが打撃を受けていました。そこでアメリカ政府が「もつとアメリカの製品を使い」と日本に圧力をかけたんです。建築業界もその影響があり、ペリの会社でも日本の仕事をするようになりました。私はデザインのチーフとして携わっていました。が、建築では現場を見る必要がある。で、私が帰国することになったんです。そこで、ペリの日本事務所に加え、光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所という自分の事務所も設立しました。2020年東京オリンピックの選手村や麻布台ヒルズなど国内の仕事のほか、ニューヨークに旭酒造「瀬祭BLUE」の工場を作ったり、香港やシンガポールなどあちこちで仕事をしてきました。

は世界にもない。世界のホテル業界のトップブランドも軒並みその魅力を認めており、人が集まる場所になる力があると思います。

—最後に、若者へのメッセージを!!

光井 人との出会いを大事にしてください。見えないところにすごく大事な出会いやチャンスがいっぱい転がっているかもしれません。好奇心を持って人に接したら、いろんな可能性が見つかるかもしれません。あとは、自分を大事にしてください。いすね。いろんなことをいろんな方が言うかもしれないけれど、「自分はこれをしたい」と思うことを大切に、道を切り拓いてください。努力を怠らなければ、だいたいどうにかなるものですよ。

あべのハルカス



撮影／黒住直臣

瀬祭 BLUE ニューヨーク蔵



撮影／Pelli Clarke & Partners

Iwakuni High School Alumni Association

4



撮影／Nacasa & Partners

Iwakuni High School Alumni Association

5

島津製作所

代表取締役会長

上田 輝久さん

Teruhisa Ueda

1957年生まれ。
灘中学校出身、1976年（昭51）岩国高校卒。
1982年京都大学大学院工学研究科修士課程修了後、
島津製作所に入社。
1995年博士号（農学）取得。
2015年社長就任。2022年より現職。

SHIMADZU
Excellence in Science

全農 ZEN-NOH
食と農を未来へつなぐ。

J A 全農

代表理事専務

安田 忠孝さん

Tadataka Yasuda

1960年生まれ。
和木中学校出身、1979年（昭54）岩国高校卒。
1983年京都大学法学部卒業後、
JA 全農に入会。
2021年より現職。

岩高・京大出身
トップ対談

食で健康を維持・促進できる社会は

岩国高校から京都大学に進学し、現在はそれぞれの分野で日本を牽引する企業、組織のトップの立場にあるお二人。
故郷の思い出から日本の農業の課題、そのための取り組みまで、熱く語っていただきました。

日本の強みになる

サッカー、バスケット
部活に打ち込んだ岩高時代

―岩国高校ではどう過ごされていましたか？

上田 私はサッカー部で、部活ばかりの日々。強くはなかったけれどチームワークは良く、今でも高校時代といえばサッカー部の仲間の顔がまぶさびます。

安田 私も3年間、バスケットボール中心でした。あとは三連覇した体育祭。3年の時は団長で、騎馬の上で優勝旗を持ったのは自慢です。

―その後、お二人とも京都大学に進学されました。

上田 小学生のときから京都の美しさに憧れがありました。あと、京大には自由なイメージがあったので、迷わず選びましたね。

安田 私も同じです。入ってみると想像通りの自由な空気感でした。大学では何をされていましたか？

上田 ボランティア活動をするサークルで養護学校の子どもたちを植物

園など、外に連れていったりする傍ら、同好会でサッカーも続けました。

安田 私はバスケットは高校でやり切った感があつたので、そのかわり裁判の支援活動をするグループに参加していました。裁判の傍聴に行ったり、担当弁護士の人と意見交換をしたり。あとは麻雀をやって、酒を飲んだりですね（笑）。

上田 あの頃、麻雀は流行りましたよね。私もサッカーのあとは必ず、下手すると徹夜で麻雀でした（笑）。

安田 上田さんは理系ですね。

上田 工学部の工業化学です。理論を極めるよりも実践を学びたくて、一番広い分野をカバーする工業化学科に行き、4年生からは分析化学に打ち込みました。安田さん、学部は？
安田 私は弁護士に憧れて法学部に入ったんです。ただ、実際に弁護士の方とお話をすると、夢見ていたかっこよさは違うと現実を知りました（笑）。それでも司法試験のために勉強はしましたね。ただ4回生で試験に合格できなくて、就職することになったんです。上田さんはなぜ島津製作所に入ったのですか？



JA 全農とは？

JA (Japan Agricultural Cooperatives) グループは、相互扶助の精神のもとに農家（組合員）の営農と生活を守り高め、豊かな社会を築くことを目的として構築された協同組合組織。1972 年設立の全農は、グループ内で農畜産物の販売や生産資材の供給などの経済事業を担う。「農協牛乳」や「ニッポンエール」などの商品でも生産者と消費者を結んでいる。



島津製作所とは？

1875 年設立。世界トップレベルの分析・計測機器、医用機器、産業機器、航空機器のメーカー。水、食物、薬から飛行機まで最先端技術で社会を支えている。2002 年現役サラリーマンとして初めてノーベル化学賞を受賞した田中耕一氏は、現在も同社で研究を続ける。人気ドラマ『科捜研の女』では、シリーズ当初から実製品での美術協力をしている。

サイエンスの裏付けで

日本の農業に貢献したい

（上田さん）

信頼を得るための対応 現場での経験が大きな宝に

「お二人とも大きな組織でトップの役職に就かれています。そこまでの道のりを教えてください。」

上田 最初はクロマトグラフの開発部隊に7年間いて、そのあとアメリカ・カンザス大学に設立された島津・カンザス研究所に2年間行っただけです。いろんな国の人と会話をし、文化や考えの違いについて学んだことは、大きな転換点になりました。

苦勞で思い出すが、アメリカでのクレーム対応。製薬メーカーが買ってくれた15セットの分析装置に不具合があり、私が現地に行っただけです。最初お客さんからは「全部持つて帰れ」と怒られましたが、3日間一生懸命に全数点検したところ、最後は態度が変わりました。それどころか

逆に信頼を得て、継続的に契約してくれることになったんです。何事も現場を見ないと解決しないし、対応次第で信頼を得られると知ったこの経験は、大きな宝です。

安田 私も農業機械部という農業生産の全段階に関わる部署から始まったのですが、やはり現場の方々と15年過ごせたことは、今でも財産だと思います。

農業機械部のあとは、組織整備対策室という部署に異動しました。全農はその当時、全国の都府県にあった経済連（経済農業協同組合連合会）のうちの35の経済連と合併することになり、各経済連と対話を重ね調整する事務局の役割をしました。それが一段落したところで、雪印乳業の牛乳部門と「農協牛乳」を作っていた全農の子会社を統合した新会



なっている、近い将来、農業人口は崖のように大きく減ります。そこでいきなり誰も作れなくなるという事態を避けるのが一番の課題です。2007年までは世界的に「作る人」の方が「食べる人」より多かったのですが、それ以降は逆転しています。現在、日本の農業者は全体の2%しかいません。加えて日本は耕作適地である平地が少ない。日本で食の自給は難しいんです。それでも、いかに供給するかを考えなければいけない。そのためには上田さんのおっしゃるように、違う切り口での支援も必要です。

上田 2013年に日本食がユネスコの無形文化遺産に指定され、海外でも健康志向から和食のニーズが高まっています。アメリカでも運動で薬と同じ効果が得られるようにする

社設立に携わりました。向こうは上場企業で、我々は農業協同組合。それが一緒になって一つの新しい会社を作るといのは刺激的な経験で、今でも当時の仲間とは時々集まって思い出話をしています。その後も生産資材や建設にも携わるなど、振れ幅の大きいキャリアだと思います。

「全農はもちろん島津製作所も農業や食の取り組みを進めています。お互いに興味深い事業はありますか？」

上田 全国の食材を使うJA全農の商品ブランド「ニッポンエール」に注目しています。日本では重要な取引を個別にやる傾向がある中、多くの関係者を一つに束ねるのは大変なことだと思います。

安田 産地・日本を「応援する」というコンセプトのもと、いろんな食品メーカーに協力いただき、ひとつ

研究が進んでいますし、食、運動、分析データを組み合わせることも、重要な観点になると思います。

「今後の取り組み、目指すところを教えてください。」

安田 とにかく我々は農業者ファースト。農業は人の営みであり、農業者がその営みを続けられるための取り組みを続けています。いつか「農業をやっている良かった」と言う人がいたるところにいるような風景を見たいですね。

上田 データ分析を活用した生産方法、品種改良など、サイエンスの裏付けで農業に貢献していきたいですね。一生懸命やっている方の努力が報われる世界であって欲しい。自信を持って生産でき、食で健康を維持・促進できる社会になればいいし、それが日本の強みにつながると思います。



我々は農業者ファースト。 営みを続けられる取り組みを

（安田さん）

ずっと作ってきた取り組みです。日本の食の土台である農業のために、全農だけでできることは少ない。さまざまな企業の力を借りてようやく解決の糸口になるんです。島津製作所は、確固たる分析・計測技術をもとに社会課題に取り組んでいて、その一つに食や農がありますね。

うわのそらの力

文・**周防柳**さん

小説家



Profile ● Yanagi Suo

1964年生まれ。
岩国中学校出身、1983年（昭58）岩国高校卒。
早稲田大学第一文学部卒業。
2013年『八月の青い蝶』で小説すばる新人賞を受賞しデビュー。
同書は2015年の広島本大賞「小説部門」大賞に選ばれた。
2017年刊行の『蘇我の娘の古事記』は、
同年上半期の「本の雑誌」エンターテインメントベスト10第1位。
2022年『身もこがれつつ 小倉山の百人一首』で第28回中山義秀文学賞を受賞。
他の著書に『逢坂の六人』『虹』『余命二億円』『高天原』『とまり木』『うきよの恋花』『小説で読みとく古代史』がある。

私の頭は、かなりしまりがありません。ふとした瞬間、糸の切れた凧のように、心がふらふらとさまよいだします。朝パソコンを立ちあげ、そのまま気がついたら夕方だった、などは普通です。電車でもよく失敗します。あら、と思ったときには目的地を過ぎていて、乗り直して戻りすぎ、乗り直してまた行きすぎます。まぬけに同じ線の上を行ったり来たりします。ことに座るといけません。座ったとたん、あきれるほど異世界への旅になります。注意力散漫なので、失くしものもすごいです。

ものごとろついたときには、すでにその気配が濃厚でした。

小学校にあがってまもなく、「お子さんは私の話を聞いていないようだ」と、母が担任の先生から指摘されました。わけを問うた先生に、私は「きのう読んだ本のことを考えてました」と、答えたそうです。本の虫だった自分です。

たぶん、無実の罪の囚人になって脱獄の方法をさがしていたか、花売りのみなしごになって屋根裏部屋で涙していたか、少年探偵団の二員として一寸法師の後をつけるかしていたのでしょう。

成長するにつれて、妄想癖も順調に育っていました。しかし、叱られたことはありません。ばれたのは小学一年のとき一度きりです。

おそらく、見た目の感じに騙されたのです。顔には出ないほうです。自分で言うのも変ですが、

ふまじめにはみえないと思います。

つらつら惟るに、身の自由を奪われることが、一つのスイッチになるような気がします。束縛を感じると、脳が反射的に走りだすのです。してみると、空想旅行はある種の抵抗でもあるのでしょうか。

石川啄木の短歌に、
「不来方のお城の草に寝ころびて空に吸はれし十五の心」
というのがあります。

これです。

あのころ見た景色には、とくべつな魔法がかかっていたなあとしみじみ思います。

うれしがってばかりもいられません。中学まではのんきにしていたもとくに困ることはなかったのに、高校に入るとにわかにまわりについていけなくなりました。

なにしろ授業中うわのそらなので、独学のようなことをして追いかける必要はないのですが、力及びません。ならばちゃんと聞けばよい。でも、しみついた癖はそうそう直らぬのです。座席に固定されると、パプロフの犬よろしく魂がさまよいはじめます。学校だけでなく、自分の部屋でもさまよいます。

かくしてどんどん差が開き、高校三年次には、「十一組」というど、んけつ、クラスに流れつきました。ホームルームの生物室の窓から斜めに雲を見上げながら、温い水たまりを泳ぐボウフラになりました

た。高校時代にはあまりよい思い出がありませんが、ここだけは最高の居心地でした。

いたずらに時を浪費しつづけた私の人生は、場当たりのな弥縫の集積です。

試験も受験もすべて、ぎりぎりの間際になってからのエンジン始動です。大学時代もあらゆることを先送りにした末、四年生で週六日フル登校していました。

計画性はほぼありません。あいまいな覚悟で就職し、案の定、すぐに転職し、勤め先にも失礼このうえないことをしました。

いよいよ時間切れと観念した三十歳の目前、ようやくイメージに近い出版の畑に入りましたが、なおも心は浮遊していました。

小説を書きはじめたのは、それよりはるかのかのちの四十代も後半です。それも、父親が白血病になって余命宣告をされたからです。ここで立たずしていつ立つのかと自分で自分の背を押したのですが、それがなかったら、まだ火がついていなかったかもしれませぬ。

結果的には、この作品で文学賞をいただき、デビューすることができました。しかし、父は知らずに去りました。滑り込みセーフもならずです。

言いだすときりがないので、このくらいにしておきます。まあ、ろくなものではありません。

そなたたわけの私に、なぜ作家をめざしたのですかと、尋ねる方が、ときおりおられます。



造形監督／光画監督／CG監督

スタジオジブリの コンピュータグラフィックス 文・片渥 満則さん

Profile ● Mitsunori Kataama

1964年生まれ。岩国中学校出身、1983年(昭58) 岩国高校卒業。
1990年東京藝術大学美術学部デザイン科中退。大学在学中より藤幡正樹に師事し3DCGの道へ。
同年、リンクス入社。『マクロスプラス』のCG監督を務める。
1995年スタジオジブリに入社し『もののけ姫』に参加、『千と千尋の神隠し』『ハウルの動く城』等でCG監督を担当。
2010年ポリゴン・ピクチュアズに移籍し『シドニアの騎士』『BLAME!』などで造形監督・光画監督を担当。
現在はフリーランスとして『すずめの戸締まり』『カミエラビ』などに参加。

「コンピュータを使わないと実現出来ない絵コンテを描いてしまっ……」
1995年2月。スタジオジブリを訪ねた私への、宮崎駿監督の第一声でした。
この日私は、短編アニメーション『On Your Mark』のためのCG映像制作の依頼を受け、東小金井のスタジオを訪ねました。宮崎監督が玄関まで出迎えてくださり、その時に発せられたのが、先の言葉です。
打ち合わせのテーブルの上には、「絵コンテ」と呼ばれる映像の設計書と、監督直筆の水彩画のスケッチが多数広げられていました。その中から、SF的な壁面に穿たれたトンネルと、未来的な巨大なビルが描かれている絵を示しながら、打ち合わせは始まりました。
監督曰く、カメラによる撮影方法では、トンネルの絵をズームアップして画面全体を拡大するだけなので、トンネル内部を進んでいくような実感が得られない。また、高層ビルが立ち並ぶ地下都市は、ビルと壁面は移動するスピードに差をつけて距離感を描きたい。だが、平面である絵ではそれが表現できない、と。せっかちな宮崎監督の早口な説明を聞きながら、私は4か月前の事を思い出していました。
実はスタジオジブリに来るのは二回目で、初めて訪れたのは前年(94)の10月。その目的は、CG

好きだったのです。その気持ちがいままで変わらなかつたからです。この、ずっと好きという性懲りのなさが、きつと重要です。
少年少女のころは、だれしも夢見る中二病だと思っています。けれども、分別がつけば、普通は夢など見なくなります。むしろ、いつまでもぼんやり

していたら、どつかれるでしょう。
浮世離れた人に向かって、いいかげんに目を覚ませと喝を入れる場面をよく見かけます。ごもつともです。しかし、ものを書くこうとする場合は、目を覚ましたら終わりでもあるのです。
職業としてはほとんど成り立っていないため、危険度もA級です。ゆえに、もろもろのリスクを差し引いてなお空想旅行をしたい気持ちがあるかどうか、分かれ目になると思います。
これを仮に、「うわのそらの力」と名づけてみます。
あるいは、多少の誤解を恐れず、「人の話を聞かない力」と言い換えてもいいかもしれません。
一般的な世の中では、外の声を容れるほうが、角も立たず、迷惑にもならず、生きやすくもあるでしょう。孤独にもならぬでしょう。けれども、自分だけの世界をこしらえ、そこで生きていたいと念じるならば、すべからず自己完結を貫くべきです。社会不適合になったとしても、しかたがありません。

だにエンジンがかかっている気すらして、果てしなくあります。
そして、還暦間近の心はいかかわらず空に吸われつつけています。蜘蛛の糸のように淡くはかないものですが、これだけは手放すまいと思います。それが自分の唯一の原動力ですから。



愛猫・寅次郎さんと著書

いちばん困る質問です。そもそもめざしたのでしょうか。まともに答えられたことがないので、ここで少しだけ考えてみます。
単純には、本が好きだったからです。でも、いまひとつしつくりきません。ではなにかと言えば、それ以前に、宙をさまよっている状態そのものが



も終わろうとしています。
同い年の友たちは、いまどんな境地なのだろうと想像することがあります。すでにやることはやり終え、人生の仕上げに入ろうとしているのでしょうか。
ふがいない私はたいした働きもできておらず、納得がいったためしありません。なんならいま



もののけ姫

上：デイダラボッチの体内を流れる光点がCG
下：“半立体化”によるカメラワーク



「三鷹の森ジブリ美術館」の屋上庭園にてロボット兵と

映像制作受託のための訪問営業でした。持参したサンプルは、私が作った『マクロスプラス』『マクロス7』というアニメーションのためのCG映像でした。対応してくださったのは、ジブリのプロデューサーである鈴木さんでしたが、映像を見るなり、「これ、面白いので、宮崎にも見せますね！」とその場に監督を呼んでくださいました。宮崎監督は一度再生が終わると、すぐにご自身でビデオのリモコンを操作して、映像を何度も見直してくれました。



On Your Mark

トンネルやビル群を“半立体化”して、前進するカメラワークを実現



特に繰り返しご覧になっていたのが、“ビルの上からカメラが遠ざかり空に登っていくと、街全体が、巨大な宇宙船の内部であることがわかる“、という『マクロス7』のオープニング映像でした。私と鈴木さんとの会話に加わることなく画面を見続けていた監督は、最後に「何かあったら連絡します」と言葉を残されて、会議室から去っていきました。この時の「何かあったら」が『On Your Mark』の未来都市に向かう視点移動の表現なんだな、と得心した私は、トンネルとビル群をCGで立体化するプランを提案し、映像制作を受注することができました。

「立体化」と言っても、特撮の模型のようにビルの窓や構造物の形状を忠実に作成するのではなく、“飛び出す絵本”というか、舞台の書き割り“のように、裏側は作らず、目に見える表面だけに、スタジオジブリらしい手描きの背景画を貼り付ける、という方法を採用しました。この手法は営業で用いた

- は早速、宮崎さんからこう告げられました――。「2年後の映画公開時に古臭く感じるようなCGにはしないでください」
- この言葉から、『スタジオジブリにふさわしいCG表現とはなにか?』を考えるようになった私は、次のような方針をたてました。
- CGで描いている事が観客には分からないよう、徹底的に手描きの表現に擬態しよう
- 擬態するためには従来のアナログの技法や手法を学び、それを再現しよう
- 再現のためには、まだ普及していない最新のデジタル技術をためらわずに使おう
- その技術力を誇るのではなく、映画の面白さに寄与しよう

具体的な例を挙げると、『もののけ姫』では、透明な巨人“デイダラボッチ”の体内を流れる光の粒

は、“パーティクル”と呼ばれる粒子の動きを描画するCG技術が使われています。光の粒は、従来のアニメーション技法では「黒い紙に針で小さな穴を開け、裏から光で照らして」表現していました。しかしこの光はアニメーションすることができません。何枚もの黒い紙に正確に位置が変化していく、そして大きさが一定した穴を針で開けるのが難しいからです。そこでCGを用いて、安定して動く粒子を描きます。ただしその粒子の光り具合の参考として、黒紙に穴をあけた光点をフィルムで撮影した素材を用います。フィルムを特殊なスクリーンでデジタル画像に変換して、光の輝度や色の変化を分析して、デジタルで作成した光点の色に適用しました。

『ハウルの動く城』では、城を様々なCG技術で動かしました。一枚の絵として描かれた城は、デジタル画像化した後、数多くの“部品”に分解され、それを前述した半立体化し、動きをつけています。動きをつける際には、作画による大まかな参考画像も用いますが、城の巨大さを表現するために、揺れる動きの時間差をコンピュータ上で細かく調整しています。また、物語の舞台となる街中に飾られている多数の旗も、CGによって描かれています。旗が揺れる動きは、単なる物理シミュレーションではなく、アニメーターが手描きで作画する時に意識する、「見えない空気のボールが旗の上を移動していく」という考えを踏襲して動きをつけてい

『マクロス』でも採用しており、二元となる技術は実写映画の『ターミネーター2』に端を発する“カメラプロジェクションマップ”と呼ばれるものです。

その後の制作期間中には、「ネオンサインを発光させてほしい」とか「ビルについている目をまばたきさせたい」といった新しいアイデアも追加されましたが、5月初頭に無事納品を迎えました。完成した短編『On Your Mark』は、CHAGE and ASKAのコンサートや、長編映画『耳をすませば』と同時に上映され、自分が制作した映像が大きなスクリーンに映し出されたことは、当時テレビコマーシャルやビデオの仕事しかしていなかった自分にとって、とても大きな喜びとなりました。幸いなことに、ジブリとの関わりは納品後も続きました。当時私が所属していたCG制作会社リンクスには、映像制作部だけでなくCG制作用の機材やソフトウェアの販売を行う部署があり、そこにジブリからCG室設立のための見積もり依頼があったのです。販売担当の同僚からその事を聞いた私は、新設されるCG室に入社して、今後スタジオジブリ作品のCG制作に関わりたい気持ちが高まるのを抑えることができませんでした。その時点ではジブリは人材採用を行なっていなかったのですが、私の強い思いを知ったジブリの担当者は「片瀬さんは、既に入社試験が済んでいるようなものなので」と、私の希望をかなえてくれたのでした。

1995年9月にスタジオジブリに入社した私



ハウルの動く城

上：CGで描いたストライプの旗
下：城は多数のパーツに分けて柔らかく動かし



ます。またジブリ特有の「暗部の色を鮮やかにする」というルールにそって色を決めています。こういった細かな作業の積み重ねは、やはり劇場作品の予算と制作期間がないと実現できない、まさにジブリらしいものだったと思います。

当初の目標は、「2年後に古くならない」だったのですが、宮崎監督の圧倒的な演出力によって創られた映画は、その後30年近く経つ今でも古びていないと感じます。

現在もデジタル技術は発展を続けており、特に近年の“生成AI”による表現を見るにつけ、私が携わってきたようなCG技術は過去のものになりつつありますが、ジブリの映画が過去のものになるのは、まだ随分と先になるような気がします。ジブリのコンピュータ・グラフィックス制作はとても幸福な仕事だったなど、喜びを感じながら、そして今しばらくこの仕事を続けていきたいと思っています。



自分の好きな事を追求し、
それで世の中の役に立てるなら、
こんな幸せなことはない

Special Interview

小学校からの
幼なじみである
書家×漫画家による
特別対談が実現！



Profile ● Kenshi Hirokane

1947年生まれ。
高水付属中学校出身。
1966年(昭41)高水高校六年制普通科卒。
1970年に早稲田大学第一法学部卒業後、
松下電器産業入社。
3年後に退社し、1974年漫画家デビュー。
『人間交差点』『加治隆介の謎』のほか
代表作『社外取締役 島耕作』『黄昏流星群』を
現在も連載中。
今年画業50周年を迎えた。

漫画家

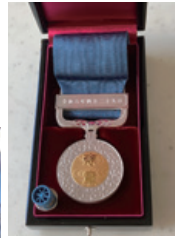
弘兼憲史さん

書家

岩見屋 錦舟さん

Profile ● Kinsu Iwamiya

本名 岩見屋 健(たけし)。
1947年生まれ。岩国中学校出身。
1966年(昭41)岩国高校卒。
1970年に皇學館大学文学部を卒業後、
私立高水高校・付属中学校で定年まで
国語・書道教員として教鞭を執る。
日本教育書道連盟教授、
山口県書作家協会会長、
全国篤志面接委員連盟
常任理事などを務める。



今春、藍綬褒章を受章された岩見屋さんは、弘兼さん(高水高校六年制普通科卒)とは岩国小学校の同級生。漫画『島耕作』シリーズの題字も手掛けています。年に数回、一献傾けながら親交を深めているというお二人。弘兼さんにインタビューになったいただき、皇居に参内した時のことから、喜寿を迎えた心境などを存分に語り合っていました。



書家への道を開いてくれた
大学時代の恩師との出会い

弘兼 まずはこの度の受章、誠にありがとうございます。

岩見屋 ありがとうございます。

弘兼 藍綬褒章っていうのは、どういう事に対する褒章なの？

岩見屋 教育や社会福祉、厚生事業などの公共の利益に尽くした人に授与されるということで。岩国にある女性刑務所に月1、2回通って、20年以上書道を教えてきました。篤志面接委員といってね、受刑者の更生や社会復帰を民間の立場で手助けするというボランティア活動です。知り合いの書家から引き継いで始めたんだけど、続けるうちに岩国だけでなく中国地方五県の篤志面接委員会の会長になり、全国の連盟の常任理事になりと、いろいろ役目を引き受けてきた実績を認めていただいたようです。

弘兼 そもそも書家になるきっかけは？

岩見屋 皇學館大学の文学部に入っ
て、国語の教員になるための授業を
受ける中で、書道の単位があったん

ですよ。その時の書道の先生から、「文部省（現文部科学省）から認可された『芸術科書道』という書の専門家として、中学・高校の教員免許が取得できるコースができたから、やってみてはどうか」と強く勧められてね。もともと書道教室へは小学校の時しか通っていなかったのだけど、賞状をもらったのも書道だけだったから。乗せられてその気になって（笑）。

弘兼 じゃ、その先生との出会いが無かったら、書家になつてなかった。

岩見屋 うん、そうだね。今回の褒章に関しても、篤志面接委員としての活動によるものだけど、根っこは書道なんですよ。芸術的なものだけではなく、教育の一環として、人の心をよりよくするためのお手伝いを書道を通じてできるようになったのも、この先生との出会いのおかげ。その影響は、僕の人生の中でもすごく大きいものでしたね。

藍綬褒章受章の岩見屋さん 紫綬褒章受章の弘兼さん

弘兼 もう17年前になるかな？

う機会もなかったんだけど、再会はNHKの番組だっけ？

岩見屋 30年近く前、全国各地の夜の風景を生中継で届けるという『につぼんの夜』という番組ですよ。錦帯橋がロケ地になって、父が錦川の鵜飼事業をしていたのでNHKから話がきたんだけど、岩国出身の有名な人を呼ぼうということで、憲史君に来てもらって、幼なじみとして僕も一緒に出演することに。それ以来、憲史君に何か頼みたい時には岩見屋に、みたいな感じになってきて、それで度々連絡を取るようになって。子どもが東京の大学に行ったり、篤志面接委員の関係で法務省に行くことも多かったりで、東京に来る度に、一緒に食事させてもらうようになってたんだよね。

弘兼 丁度『会長 島耕作』が始まる時に、これまでは表紙タイトルのイメージを変えようという話が出て、筆文字にするなら岩見屋君にお願いしようということになった。

岩見屋 「日本の和の心を大切にしたい」というコンセプトになって、会長から、相談役、今の社外取締役と

社会貢献に尽力すること

楽しみながら取り組みたい

（岩見屋さん）

僕は紫綬褒章（学術、芸術、技術開発の功労者、スポーツで顕著な業績を上げた人が対象）をいただきました。ガキの頃に城山で遊んでいた二人が、70過ぎてこういう会話ができるとは思ってもみなかったよね（笑）。参内の当日はどうだったの？

岩見屋 まずは関係各官庁が執り行う伝達式っていうのがあって、それが終わってからバスに乗って皇居

に向かうんです。

弘兼 宮中参内は配偶者同伴で、男性はモーニング、女性は色留袖かロシンドレスと規定があつてね。天皇陛下に拝謁する部屋は、「春秋の間」だったかな？ 絨毯の毛足がすごく長くて、足がグニャつとなりそうな上に、30分くらい立ったまま待つんですよ。ふらふらして倒れそうな人いなかった？

岩見屋 我々の時は総勢400人位で、一番大きい「豊明殿」でした。そんなふかふかな絨毯じゃなかったし、ちゃんと椅子が用意してあつたよ。憲史君から「立ちっぱなしだった」って聞いていたから、後で宮内庁の方とお話する機会があつて聞いたらね「ご高齢の方が多く、医務室へ行かれる事も度々あつたから、近年着席していただくことになりました」って。

弘兼 へえ、変わったんだなあ。天皇陛下が会場に入られてからは、移

書かせてもらっています。
弘兼 森進一さんのレコードジャケットとか、もみじ饅頭の藤い屋とか、他にもいろいろ書いてるよね。さて、少しは岩国高校の話もしましょうか（笑）。
岩見屋 僕の家は、岩国高校が今の向山校舎に移る前の横山校舎の隣ですね。その家で生まれて、今だに住ん



Kenshi Hirokane × Kinshu Iwamiya

でいる。物心ついた時から校庭で遊んでいて、当たり前のように岩高に入学したんです。部活が天文気象部だったんだけど、当時、気象庁の岩国観測地点が岩高にあったので、毎日のデータ収集を天文気象部が任されていた。正しく報告する責任があつたから、それこそ夏休みも家が近いから毎日通つて。僕ほど岩国高校と身近な生活をしていた生徒はいないんじゃないかと思う。電車や自転車通学で、帰りにお好み焼きを食べて帰る友達が羨ましかったりもしたけど（笑）。高水高校の教員になったから転勤もなくて、ずっと横山から出ていないよ。横山で鵜匠の岩見屋という昔から誰もが知っているの、同期会のとまりまとめも任されている。今年は喜寿で、最後になるかもしれないからと、同級生120人が集まりましたよ。

やりたいことをやってきて

後悔が無いというのは幸せ

（弘兼さん）

お互いに喜寿を迎え 今、改めて思うこと

弘兼 今年77歳、これからまだやりたいことや目標ってある？

岩見屋 今回の受章を謙虚に受け止めて、ライフワークである「書道」に精進し続けることですね。篤志面接委員活動や社会貢献に尽力することに、楽しみながら取り組みたい、そう思っています。自分の好きなことを追求して、それで世の中の役に立てるなら、こんな幸せなことはいよね。憲史君は？

弘兼 これまでやりたいことをやってきて、後悔が無いというのは幸せなことだと思ふね。もう年齢的に大きな夢っていうのはないけれど、小さな目標をたくさん立てて、それに向かって少し努力していくっていうのがいいんじゃないかな。「80歳まで歯を20本保つ」とかね。密かに狙っているのは「80歳でゴルフのスコア80」だけど（笑）。
岩見屋 なんにせよ、健康じゃないといけないね。

弘兼 さてと、美味しいものでも食べに行こうか。

動されるのに合わせて、常に自分の身体が陛下に対して正面になるように少しずつ動いていかなくちやいけなくてね。受章者のまわりを一周されるのを横目で見ることがないように、正対を保つ予行演習もあつたよ。
岩見屋 陛下がお出ましになると立ち上がったけど、中央の壇に上がられてお言葉を賜る時には、また着席しました。その後、降壇されてから、何人かに「どういいうお仕事をなさっていますか？」とお訊ねになられていたのだけど、言葉を交わしていない人にも、しっかりと目で話しかけてくださっている実感があつたと、後でみなさんが口々に言っていてね。ただ歩いておられるだけじゃない。みんなに「ああ、ちゃんと見てくださっている」という気持ちにさせるって、本当にすごいことだなあと感じましたよ。

漫画『島耕作』シリーズで 会長以降の題字を手掛ける

弘兼 岩見屋君とは中学、高校、大学と違っていたので、もうずっと会

何の変哲もない小僧を

錦川で泳ぎ、お好み焼きを食べ、部活に熱中――。

海将に育てた岩国の風土

2019年から2022年まで、海上幕僚長として日本の防衛から世界の平和と安定のため海上自衛隊を率いた山村浩さん。いかにしてそのタフネスを身につけられたのか、岩国時代の思い出から今に至るキャリアの背景を伺いました。



元海上幕僚長

山村浩さん

Profile

1962年生まれ。麻里布中学校卒、1980年（昭55）岩国高校卒。1984年防衛大学校を卒業後、海上自衛隊に入隊。護衛艦「みねゆき」艦長、第4護衛隊群司令、護衛艦隊司令官、海上幕僚副長などを歴任し、2019年第34代海上幕僚長に就任。2021年レジオン・オブ・メリット勲章（米国）、2022年レジオンドヌール勲章オフィシエ（フランス）を受章。同年退官。



てカッターのオールはとても重たく、毎日が憂鬱でした。それでもめげずに4年間続けていたら、4年生時に年1回開かれる全日本カッター競技会で優勝。体力測定でも1級が取れるほど強靱な体になっていました。

——大学在学時から、自衛隊員を志していたのですか？

山村 実のところ、先の進路はあまり考えていませんでした。2年に上がる際に要員別に分けられるのですが、戦車に乗ってたかった私は陸上自衛官になる陸上要員を第1希望にするも視力が足りず断念。同様に航空要員もダメで、仕方なく海上要員になりました。そこでも視力の関係で護衛艦乗りになるのですが、防衛大学卒業後、海上自衛隊幹部候補生学校で行われた遠洋練習航海で価値観が一変しました。約半年間かけて太平洋インド洋諸国を13か国巡るのですが、その時に日本の素晴らしさを身に染みて感じ、日本を護る職業に就けることの意義の大きさに気づかされたんです。まあ、船酔いはいともつらかったですけどね（笑）。

プレアンで指揮棒を振るう意外にも文化的な高校生活

——岩高時代、山村さんはどんな学生でしたか？

山村 中学では剣道部でしたが、文化的に充実した高校生活を送りたいと思い、高校ではマンドリンオーケストラを行うプレアン（プレクトラムアンサンブル部）に所属。授業態度がよく、部活にも熱心な模範生

だったと思っています（笑）。生徒会や文化祭などで役を買って出るようなタイプでもなかったため目立たない生徒でしたが、プレアンでは指揮者に抜擢されて約100人の部員の前で指揮棒を振るうこともありました。

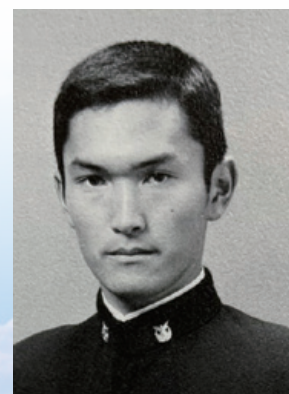
——防衛大学を目指された理由は？

山村 父方の祖父が陸軍軍人だったこともあり、志望校選択でばんやりと防衛大学が選択肢にありました。

38歳で最年少艦長を拝命
海上幕僚長としての重責

——海上幕僚長になれるまでの経緯を教えてください。

山村 防衛大学を卒業して海上自衛官になり、護衛艦乗りの道に進みました。23歳〜38歳までで護衛艦5隻と司令部幕僚勤務、筑波大学への国内留学、海上幕僚監部での勤務を経験し、晴れて護衛艦の艦長を拝命。当時、護衛艦隊で一番若い艦長になりました。ただ、艦長というと宇宙戦艦ヤマトの沖田艦長のような白髭を生やした熟年のベテランというイメージが強いためか、広報で一般の方に船を見学してもらった時に「艦長はどこですか？」と聞かれ、「私です」と答えると「えー」っと驚かれたこともあり（笑）。41歳の時



防衛大学卒業時

母からは「自宅から通える広島大学に行つて教師になってほしい」と言われ二択で悩みましたが、関東に行つてみたいという若者特有の冒険心から防衛大学進学を決心しました。

規律正しい集団生活が開始
カッター部でしごかれる日々

——大学での生活はどうでしたか？

山村 防衛大学電気工学科に入學すると、いきなり2000人という

大集団での寮生活が始まりました。起床から就寝まで時間が決められ、衣食住と勉強はすべて学校の敷地内。外出は土日だけで、外泊は2年生になってからという規律の厳しい生活が待ち受けていました。また、必ず運動部に入らなければならず、文化部出身の私にはハンディキャップがあったため、高校で誰もやってないスポーツをやるうと短艇委員会に入部。短艇とは「カッター」と呼ばれる大型の手漕ぎボートのこと、12人1組でボートを漕ぎます。入部してからわかったのですが、短艇委員会は学内でも屈指の練習量。軽い指揮棒を振っていただけの私にとっ

Iwa-ko OG Interview

高校を出たらそれっきりの縁ではなく、 今でも繋がっている。 それが岩高のいいところ

全国の高校の名前を冠した「居酒屋ノート」で知られ、メディアでもたびたび取り上げられる新橋の名物居酒屋、有薫酒蔵。女将である松永洋子さんは、80歳となった今も現役でお店を切り盛りされています。複雑な生い立ちから岩高の思い出、お店の歴史まで、たっぷりと伺いました。



Hiroko Matsumaga

新橋有薫酒蔵 女将

松永 洋子さん

1944年生まれ。岩国中学校卒、1963年(昭38)岩国高校卒。
1978年に夫の協和さんと新橋有薫酒蔵を開店。

Iwa-ko OG Interview

——海上幕僚長になられた時のお気持ちを聞かせてください。

——特に思い出に残っているエピソードはありますか？

山村 忘れもしない、海上幕僚長拝命2か月後の2019年5月28日。歴史上初めてアメリカの大統領が海上自衛隊の護衛艦を訪問するイベントが行われました。私は海上自衛隊代表として横須賀基地に停泊中の護衛艦「かが」にてトランプ大統領ご夫妻を安倍首相ご夫妻とともに出迎



2019年5月、横須賀基地にて

には1年間アメリカの海軍大学に留学。ここには世界各国から派遣された留学生コースがあり、私のクラスは約40か国から海軍士官が集いました。その後、ラトビア、UAE、マレーシアの同級生がそれぞれの国の海軍トップになっています。53歳で海将

山村 54歳で海上幕僚副長、57歳で海上幕僚長を拝命。「気づいたらなっていた」というのが正直な感想です。喜びで身が震えるというより重責を感じ、毎週火曜日の定例記者会見は常に不安でした。年々不安感を増す日本の安全保障環境に対していかに対処し、不測の事態を抑止するか。4万5千人の隊員の命をいかに守るか。隊員の家族の支援をいかに厚くするか。隊員に多忙感・疲労感ではなく達成感・充実感を感じてもらうにはどうすればいいか。さまざまなことに熟考を巡らせ、指導方針を「精強・即応」及び「変化への適合」として、勤務に臨みました。

——特に思い出に残っているエピソードはありますか？

山村 忘れもしない、海上幕僚長拝命2か月後の2019年5月28日。歴史上初めてアメリカの大統領が海上自衛隊の護衛艦を訪問するイベントが行われました。私は海上自衛隊代表として横須賀基地に停泊中の護衛艦「かが」にてトランプ大統領ご夫妻を安倍首相ご夫妻とともに出迎

え、日米の自衛官・兵士が整列する格納庫までご案内する大役を仰せつかったんです。トランプ大統領を直で見て万感胸に迫ったのも束の間、夫人がハイヒールを履いておられるのが目に飛び込み、突起物が散在する護衛艦で万一にもハイヒールのかかとが折れたりしたらどうしようという肝を冷やしながらか案内したことは非常に思い出深い経験ですね。

岩国の自由な風土が育んだ「何にでも染まれる能力」

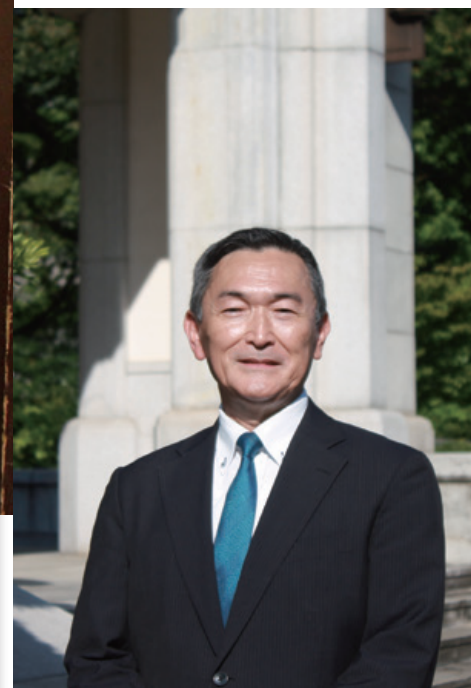
——岩国高校での経験は、山村さんにどんな影響を与えましたか？

山村 海上自衛隊の現役にも岩高出身である大湊地方総監の近藤奈津枝海将がおられるなど、多くの先輩

後輩の皆さんが各界で大活躍されている事実を見るに、岩国の風土に育まれた岩高出身者は、何にでも染まれる能力を持っているのではないかと感じます。私自身、錦川で泳ぎ、ウシガエルの鳴き声を聞き、お好み焼きを食べ、部活をやり、友達と遊んでいた何の変哲もない小僧だったのが海上幕僚長にまでなれた。これが、なによりの証拠だと思います。

——今後の夢や目標について教えてください。

山村 2年前に、海上自衛官として38年のキャリアに終止符を打ちました。今後は健康寿命が来るまで防衛省自衛隊の支援はもちろんのこと、我が故郷である岩国にもたくさん恩返しができると思っています。



2024年8月、市ヶ谷記念館にて



3500冊に及ぶ「居酒屋ノート」

Hiroko Matsunaga

——女将は、二度の大病を乗り越えられたと伺いました。

女将 20年前、急に右手が思うように動かないと思ったら、脳内出血で倒れてしまったんです。その後、

ノートにまつわるエピソードはたくさんあります。ある時、女性のお客様がいらつしゃって「私の出身校ではないんですが」とおっしゃるんです。話を聞くと、亡くなったご主人が「僕の高校はいいところだったんだよ」と常々言っていたと。ご主人と一緒にある高校に行ったこともあったそうで、「その時の思い出をノートに記したい」とおっしゃるんです。失礼ながら拝見させてもらうと、そこに綴られた言葉は涙なしでは読めませんでした。また東日本大震災の際には、被災地と東京の人を「文通」で繋げるプロジェクトなども行いました。



青木繁《海の幸》 1904年（油彩・カンヴァス、70.2×182.0cm）重要文化財 石橋財団アーティゾン美術館蔵

1歳半で母と死別 父は音楽家の福田蘭童氏

——女将の生い立ちについて教えてください。

女将 1歳半で母と死別。余命3日と宣告され、どうしても私に会いたいという母の願いで祖母に病室へと連れられたのですが、今にも死にゆく母の姿を見ても、祖母にしがみついたまま手を伸ばすことすらできなかった。私もまだ1歳半でしたから、怖かったのでしょうね。その時の母の絶望的な目を、祖母は「死ぬまで忘れられない」と言っていました。

——中学生の頃、お父様のことで大変驚かれたとか。

女将 その後は母の実家で育てられるのですが、中学2年の時に突然祖母がテレビを見なさいと言ったんです。そこに映っていたのは音楽家の福田蘭童。日本を代表する画家・青木繁の息子でした。祖母は神妙な面持ちで私に言います。「この人があなたのお父さんよ」と。後にも先にも、こんなに驚いたことはありません

ん。母が病死したあと、父方の家族とは縁をなくしていました。ただ、一度父が私のことを気にかけて青木繁の絵を持ってきたそうなんです。でも、鍛冶屋だった祖父は絵のことは全くわかりませんから、「気色の悪い目だ」と突き返してしまっていたらしくて。今となつては「なんてもったいない！」と思いますけどね（笑）。

父と再会した日に、 生涯の伴侶とも出会う

——実父である福田蘭童氏とは、その後お会いになられたのですか？

女将 高校卒業間際に就職試験で東京に行った際、初めて父と会いました。父は開口一番、「お母さんのほうが綺麗だったな」って。妻がいながら箏の奏者だった母を見初めたほど、父は破天荒な性格だったのです。その後、父の行きつけだった銀座の「有薫酒蔵」に連れられ、そこで出てきたのが丸焦げの卵焼き。申し訳なくも残してしまったのですが、この卵焼きを出してくれたのが、のちの主

人。忘れもしない昭和38年2月21日、私は父と主人という大切な人と、2人同時に会うことになったのです。

——ドラマみたいなお話ですね。

女将 山口に戻ったあと、いきなり主人から電話がかかってきました。福岡弁で「京都旅行に行くけん、会えんやろかつて。あとから聞いたたら、私に一目惚れして緊張で卵焼きを焦がしてしまつたんだって（笑）。興亜石油（現ENEOS）への就職が決まつて上京ののち、交際がスタート。私のお昼休みの間によく八重洲のレストランのランチに連れて行ってくれました。そして、3年の交際を経て結婚。新橋有薫酒蔵を開くことになります。

高校が人を繋ぐ、 新橋有薫酒蔵の「ノート」

——新橋有薫酒蔵といえば、「居酒屋ノート」ですよ。

女将 「居酒屋ノート」は、出身校別に壁にずらりと並んでいて、お客様が思い出を書き込めるノートです。

女将 当時は女生徒だけのクラスで3年間一緒だったから、クラスメイとは今でも仲良し。勉強にしても学校行事にしても、何をやっても楽しかったです。あと、部活では卓球をやっていました。日本一の強豪校が山口県にあったので県代表にはなれませんが、朝練も夜練も苦にならないくらい楽しくて。今でも付き合いの深い親友とは卓球部で出会いました。高校を出たらそれっきりの縁ではなく、今でも繋がっている。それが岩高のいいところじゃないかと思っています。

——最後に、これからの夢を教えてください。

女将 あと4年で50周年なので、それを元気で迎えたいです。病気で右手が動きにくくなり、すごく悔しい思いもしましたが、そこまでは頑張りたい。それに、私が病気をしたら、主人が病気をしたんじゃないかと思うほど落ち込んでしまうので（笑）。主人のためにも長生きして、車いすでもなんでもいいから生きて50周年をお祝いするのが今の夢ですね。

生きてても2人に1人は喋れなくなるんですって。でも私は喋れる。なら、「店に出よう」と。

——そんな中、新橋有薫酒蔵にける想いを教えてください。

岩高でできた友だちは 一生の宝物

——ある意味、たくさんの方々「高校時代」を見てきた女将ですが、ご自身の岩高の思い出はありますか？

杉敏介 — 第一高等学校長

(明治二六年旧制岩国中学校入学)

文・佐古利南

1942年生まれ。麻里布中学校出身、1960年(昭35)岩国高校卒。
早稲田大学教育学部卒業後、1965年から山口県立高等学校の社会科教員。
部活動では弓道部を指導し、1983年群馬国体において岩国高校女子弓道部を全国優勝に導く。
山口県内の教頭・校長を歴任し、岩国市教育委員会教育委員長を務める。岩国の偉人を顕彰する著書に
「近代日本の礎を築いた七人の男たち」岩国セブン・フォーザース物語」「いのちに輝きを」などがある。

東京支部総会においては、岩国の歴史と文化を
楽しく学ぶ講演会を2017年から実施していま
す。第1回は西村栄時さん(昭34年卒)による「岩
国を開いた誇り高き吉川氏一族」、第2回以降は佐
古利南さん(昭和35年卒)に「近代日本の礎を築
いた岩国人たち」「谷中霊園に眠る岩国の偉人た
ち」「日本百科大事典を創った男 斉藤精輔」をご
講演いただきました。

2024年の第5回は佐古さんに「ベルリンオリ
ンピック三段跳び金メダリスト 田島直人」につい
てお話いただきます。それとともに、本会報誌にて、
佐古さんが尊敬して止まない教育者・杉敏介先生
について寄稿していただきました。

夏目漱石『吾輩は猫である』の津木ピン助のモ
デルであり、多くの著名人が師と仰ぐ杉先生の生
涯は如何なるものだったでしょうか。



杉先生 43 歳

知られる文豪谷崎潤一郎のいづれ
も若き日の姿です。

この明治の終わりから大正時代
の初めにかけては、一高文芸部の
黄金時代で、特に大正二年卒業生には芥川龍之介、
久米正雄、菊池寛などの逸材が揃っていました。

一高といえば、天下の秀才が学んだ場所です。
教え子に日本の様々な分野をリードする優れた人
材が輩出したのは当たり前だとも考えられますが、
学生たちの杉先生に対する敬愛の念は特別だった
ようで、教え子の一人で東大教授であった守隨憲
治氏の著書の中には次のような一文があります。

「先生の人柄を慕う人達は、今猶多い。：辰野
隆とか和辻哲郎とか、いずれも今は亡き人となっ
たが、当時は先生をきつく敬慕した存在だった。」
〔「真の教育者杉敏介先生」(新樹者 昭和四八年刊)
「きつく敬慕」と表現されていますから彼らの先
生に対する尊敬の念の強さ、深さが分かります。
先生に対する敬愛の念を抱いていたのは、親し
く教えを受けた文芸部の学生たちだけではありま
せん。守隨氏は続いて次のようにも述べています。

「しかも一高出身者の先生への敬愛の念を湛へて
いる人々は数知れない。教室で教えられたと教え
られぬとの別はない。先生を高士と称えた人が居
る。慈父だと呼んだ人もいた。」

「高士」とは、高い人格の持ち主といった意味で
す。教壇教師としての杉先生だけでなく、日ごろ

杉先生の書

周東町の米川小学校校長室に「勤必成」と躍動
するような文字で記された扁額が掲げられていま
す。「勤必成」とは、「一生懸命勤めれば願ったこ
とは必ず成就する」、「為せばなる」といった意味
になります。

筆者は地元米川出身の杉敏介先生(二八七二
一九六〇)で、大正時代の後半から昭和の初期にか
けて第一高等学校(現東京大
学教養部)の校長を務めた人
です。

この書は、昭和二六年に時の
小学校長の求めに応じて書か
れたものようです。時に先生
八十歳。ご高齢にもかかわらず
衰えも迷いもない見事な書



接する先生の人格の気高さに深い尊敬の念を抱
いていたのです。そして、「慈父」という言葉は、先
生が温かく親身に慈愛の心をもって実の親のごと
く学生たちに接していたからこそその敬愛の念を込
めての表現だと思われます。

杉先生の授業は

この杉先生がどのような授業を展開しておられ
たのか、数少ない資料からその様子を探ってみま
しょう。

これも守隨氏の本からの引用です。
「その文法の授業の時、初めに先生からゲラ刷り
の資料が渡される。例文のような処が多かったが、
とに角、殆ど毎時間渡されて、それによって講義
されるのだ。中学の時、教わった文法と大分変わ
った所もあってなるほど思いながらも、前の知
識との比較整理がうまくいなくて弱ったことな
ど記憶している。」

これによると先生は毎時間自作の用例集を作っ
て授業に臨まれ、また教科書だけに頼らない独自
の文法論を展開されていたようです。しかも他の
授業生の証言によると、その講義は独特の節をつ
けて自ら陶醉するような語り口の授業であったと
いうことです。

生徒たちはその先生の国文法を「スギピン式」
と名付けて親しんでいたのです。(スギピンとは、
先生の名の敏介の敏を音読みして「スギビン」と

に感嘆します。以来この「勤必成」は校訓となり、
子供たちを励まし続けているのです。

多彩な教え子たち

杉先生のことをインターネットで調べてみると、
その教え子に著名人の多いこととその多彩なこと
に驚きます。その一部だけを紹介します。

阿部次郎 中勘助 斎藤茂吉 安倍能成 野
村胡堂 谷崎潤一郎 和辻哲郎 河合栄治郎
菊池寛 倉田百三 三木清 川端康成 山本有
三 芥川龍之介等々 そして岩国出身の文学者河
上徹太郎もその一人でした。

これだけで近代日本文学史が語れそうです。文
学者が特に多いのは先生が国文学や国文法の授業
を担当し、同時に文芸部の顧問という立場におら
れたからです。

杉先生をいたく敬愛

左下の写真は明治四十一年に先生が顧問をして
おられた一高文芸部の新旧役員を撮ったものです。

前列中央が当時の校長新渡戸稻造
です。のちの国連事務次長、かつて
五千円札の肖像となった人です。その
隣が杉先生。先生の向かって右隣りが
のちに『古寺巡礼』などの著書で知
られるようになる和辻哲郎、新渡戸
校長の左隣が「細雪」などの名作で



一高文芸部新旧役員

か「スギビン」と生徒たちが呼んだ愛称です。
そして先生の授業は、時折洒落が飛ぶユーモア
があったのです。

守隨氏はその洒落について、例年同じ講義箇所
で同じ洒落が出ると次のように述べています。

「：真面目な顔をして教室で話されているながら、
洒落が出る。古参の連中はすぐ分かって、あとで
我々新米に、あれはこうだと説明してくれた。杉
先生が別の年に講義に使った教科書があった。：
欄外に「ここに杉ビンの〇〇〇の洒落あり」と書
いてあった。その本を買った学生が開いていると、
杉先生の講義の時は、その個所に来ると必ず同じ
洒落が出たそつだ。」

なかなか微笑ましいエピソードです。

門下生から多くの国文学者

そうした杉先生の講義に魅力を感じ、国文学者
として世に出た学生も多くいました。先ほどから
紹介している守隨憲治氏もその一人で、戦後は東
京大学教授として国文学会を率いていく大切な役
割を担っています。

同じく先生の授業に魅力を感じて国文学者に
なった久曾神昇(昭和六年卒)という人がいます。
のちに愛知大学の学長を務めた人ですが、この人
が杉先生の授業を次のように述べているのです。

「杉先生の講義は暗示に富んでおり、そこにピン
トを得て調査研究し、相当の成果を得るというこ

とが少なくなかった。」

また、のちに学習院大学の国文学教授となる松尾聰氏は、ほかの教授にも仕えた経験と比較して、杉先生のわずかな疑問をも疎かにしない学究態度を「先生のお仕事への態度こそ真正の学問だ」とつくづく悟らされた」と述べ、先生の学者としての姿勢を高く評価しています。

このように杉先生の授業や学者としての態度に魅力を感じて、国文学者として世に出た人々が数多くいたのです。

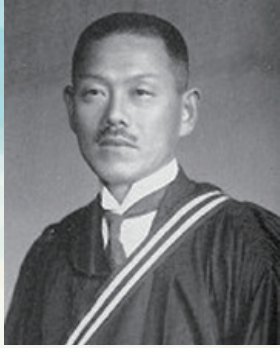
厳格だった学問に対する姿勢

その一方で先生の試験は厳格で、容赦なく落第点が付けられたようです。

教え子の一人に、後に宇部興産の副社長になる俵田寛夫氏（昭和四年卒）がいます。彼の父親と杉先生は東京帝大時代の同年輩であったようで親しかったのです。ある時その父親と杉先生が会うことがあり、その場で「お前さんの息子に落第点をつけたよ」と言われたのです。それを聞いた父親は家に帰るなり息子を問い質したのです。それに対する寛夫氏の弁解です。

「杉先生の国文法は、クラスの半数以上落第点なんだから…」

すると父親から「俺に恥をかかせるな」と一喝されたというエピソードを寛夫氏本人が明かしています。



杉先生一高校長の就任時

ると、その恐怖感を詠んでおられるのです。

当然のことながらこの震災の被害を一高も受けてしまっています。本館棟は大きく傾き、使いものにならなくなったのです。その為に時計台のあった本館棟は関係者に惜しまれながら震災から約一か月後、爆薬が仕掛けられて爆破されてしまいました。爆破後には整地し直され、そこにはブラック校舎が建てられて授業が再開できる準備が整えられたのです。

当時、一高の校長は菊池寿人先生でしたがそのころ病弱で、実際に震災後の後始末に陣頭指揮を執って獅子奮迅の活躍をされたのが当時幹事であった杉敏介先生でした。

一高校長に就任

その後、菊池校長の推薦もあり、大正十三年杉先生は校長に就任することになったのです。それを引き受けた時の心境を杉先生は次のような歌に詠んでおられます。

嬉しくもなしとは云はじ負ふ責の

重きに堪へぬ程をこそ思へ

名誉ある職に就いたことのうれしさより、これ

半数以上が落第点だったというのは真実かどうか分かりません。

慈父のようだと称えられた温情溢れる杉先生ですが、試験ばかりは大変厳しいものであったことだけは確かです。先生の勉学や学問に対する妥協を許さない厳しい姿勢がうかがえます。

もう一つ杉先生の授業にかかわるエピソードを紹介しておきます。

一高が本郷にあったとき、その一高を象徴する建物がありました。本館棟の時計台です。当時一高を目指す全国の中学生（旧制）のあこがれの的になっていました。

その時計台は三階にあり、その真下の二階に授業教室があり、杉先生がそこで授業されていた時に大きな地震が起こり、教室が激しく揺れたのです。

三階の大きな時計は、鉄の塊でできていた振り子で動いていました。その鉄の振り子は錆び付いた鎖で繋がれていたのです。地震が起こったとき、学生たちはその鎖が切れて今にも二階の天井を突き破って自分たちのところに落ちてくるのではという恐怖感にかられたのです。その時の教室内の混乱した様子を大正四年に卒業した日高信六郎氏は次のように述べています。

「ある時相当大きな地震があった。…立ち上がるもの、入り口に向かって駆け出すもの、一瞬騒然となった。」

から起こってくるであろう数々の出来事に対処する責任の重さに身震いするような思いでおられたのです。先生は本来こつした栄職には恬淡としておられ、自ら猟官活動をするなどのことは聞くのも穢らわしいとの思いを持っておられたのです。

杉先生がどのような校長であったかについては資料が乏しく、特に具体的な仕事内容について知ることが難しいのです。その中で、教え子の一人で一高でも教鞭をとり、西洋史学者として活躍した亀井高孝教授が次のような一文を、その著書『葦蘆葉の屑籠』（時事通信社）の中に残しています。

「新校長となられた杉先生は… 大局を誤たず把握する明察と小事にもよく配慮の行き届く細心さを兼ね備えられ、既に幹事の時代に大震災後の校内の混乱を快刀乱麻を断つ勢いで処理された…」

この中で語られている「大局を誤ることなく把握する明察さ」と「小事もよく配慮できる細心さ」は、ともにリーダーとしての大切な資質です。杉先生はその双方を備えておられたのです。

例えば次のようなこともありました。
関東大震災後の応急処置としてブラック校舎が建てられた時の各部屋の配置などにも杉校長の細やかな配慮が見られたのです。

「…新築ブラックの室の割当に当たって、杉先生は、事務系統の職員の為に居心地の快適な南側の室を全部振りあて、校長室、幹事室を北側に定め

それに対して杉先生が対応された様子を、続けて次のように描写しています。

「その時教壇に泰然として立つ杉さんの口からただ一言。『死なばもるとも』。われに返った二同はめいめいの席に戻って、授業は続けられた。」

授業に命を懸ける先生の真摯な態度に襟正される思いです。

関東大震災起こる

先ほどの話に出てくる地震は大正の初め頃のものですが、同じ大正時代の終わりに日本全体を震撼させた大地震が起こりました。

大正十二年九月一日に関東一帯を襲った関東大震災です。この地震のすさまじさは杉先生が詠まれた歌からも想像できます。

修羅のごと仁王の如く涌き立てる
雲につきゆく火の都かも
むくむくと涌き立つ雲の姿をば
都を呪ふ鬼かとぞ見る

地震による家屋の倒壊での犠牲は勿論ですが、その後に発生した火事によって東京の街はほぼ焼き尽くされ、死者・行方不明者十万人を超える大惨事となりました。東京各地で上がる火の手、メラメラと燃え上がる炎。涌き立つ煙。その姿を修羅のようでもあり、仁王のようでもあり、鬼のようでもあ

られてご自分の不便不愉快を全く意とされなかった。下を率いる者の、己を空うした此の厚き心遣いに、私は深く胸を打たれ、今も尚忘れられない。」
（『南山歌集』あとがき）

こつした自分の利益より他人の便宜を優先する姿勢こそ、杉先生が多くの部下から慕われた要因だったのです。

物質的、金銭的に潔癖

また先生は金銭的にも極めて潔癖な方でした。先生は日頃から親しい人に「教育者は貧しくてよい。人間は弱いもので、金あり、地位あり、名誉があるとそれに左右されるようになる」と言っておられます。それは言葉上のことだけでなく、自らの実生活の上でも実践していたのです。

例えば、天下の一高の校長ともあれば様々な贈答品が届くのですが、先生は一切それを受け取られなかったのです。

亀井高孝氏は『葦蘆葉の屑籠』の中で次のように述べています。

「潔癖な先生は、いはれなき贈遺品は悉く自己負担の送料を支払って返送するか、やむをえぬばあい価格以上の返品を送って一切よそから乗ずる隙を与えず、文部官僚の請託など殊にきびしく斥けた。」

この中で「文部官僚からの請託など殊に厳しく斥けた」とありますが、文部官僚などから子弟の

入試への便宜を図るよう依頼があったりしたのだと思われます。文部省は一高の上級官庁です。拒否することは難しいこともあったと思われます。それでも杉先生は毅然と対処しておられたのです。

金銭的に潔癖であったことは、校長時代一高教職員の懇親会での飲み代はすべて杉先生が負担しておられたことから分かります。その額は相当なもので東京の住屋を人手に渡さなければならぬいほどでした。杉先生が借家住まいをされている本当の理由を教職員が知ったのは、先生が校長を退任されてのちのことでした。

徳は才の主

教育者としての先生の信念がどの辺りにあったかを知るのは、先生が直接書かれた資料が乏しいため、難しいのですが、親しい人には、よく次のように語られていたということです。

「△徳は才の主△、人は才能は大切だが、それに先行するのは徳性である。△謀略は平生用うべからず△、策を弄すると、いつかは不信を買って身を滅ぼす、まじろいようでも誠実でなければならぬ」(宮川澳男著『右国転出の記』)

この△徳は才の主△とは『菜根譚』(中国明朝末期に洪自誠が著した本)の中にある言葉で、△才は徳の奴なり△と続きます。

先生のご遺族の居宅には、雄渾



晩年の杉先生

分された学生たちが杉先生のもとを訪れたりすることは決してなかったと思います。

こうしたエピソードだけでも守随氏が著書の題名を『真の教育者 杉敏介先生』とした理由がわかる気がします。

ところで当時一高では全学生は寮に入らなければならぬという全寮制をとっていました。そしてその寮は学生による自治的な運営に任せていたのです。そうした寮生活の中で社会人として立派に成長していくことを願ったのです。

その寮生活の中で学生たちにとって楽しみの一つが、全寮生によるコンパでした。こうした席では校長、教頭、生徒主事など幹部職員が招待されて話をするのが恒例だったようです。ところがその幹部教員の話に対して盛んにヤジが飛び、また寮生が生徒主事を攻撃する演説など珍しくなかったようです。ところが「杉校長の話は大変洒落でヤジが出るようなすきは全くなかった」と林健太郎氏(昭和七年卒)が『向陵 百年記念』誌の中で述べています。さらに氏は次のように続けています。

「殊にある一人の有名な上級生(紋付を着て髭を生やした典型的な「向陵名士」であった)が何か学校当局をやった後で、「しかし杉ピン介氏はちがう」と言って先生をほめる演説をしたことを覚えている。」

この演説の行われた全寮晩餐会は、昭和四年六

な筆致で△徳は才の主△と墨書された扁額が遺されています。こうしたことから先生が、教育の最大の目的は知識を積み上げることや才能を伸ばすことにあるのではなく、徳性を磨くことが第一義であると考えられていたことが分かります。

校長にのしかかった難題

さて、先生が校長に就任したのは関東大震災の翌年の八月で大変多難な時でした。震災の後始末だけでなく、多くの難題が待ち構えていたのです。

当時一高は、本郷にある東京帝国大学のすぐ側にあつたのですが、駒場にあつた帝国大学農学部との敷地交換のことが決定していました。具体的な移転は次の校長の時でしたが、杉校長がその為のほとんどの準備を整えたのです。

また、学生たちの中には、家が被災して経済的に困難な状況に陥り、学業の継続や、大学への進学に困難をきたす者もいました。そうした学生たちへの支援にも心を砕かれたのです。

そうした中で先生が特に苦慮されたのは、学生たちの中に蔓延し始めた赤化思想でした。関東大震災の前から日本の経済界は不況に陥り、それに大震災が追い打ちをかけたのです。その後も日本の経済界は立ち直りの気配を見せず、金融恐慌、世界恐慌の波をもろに被ってしまいました。そうした経済界破綻の間隙を縫うように共産主義思想が日本社会を覆い始めていたのです。それに対

月のことでした。先生の辞表が受理されるひと月前のことです。尚、この証言を行った林健太郎氏は歴史学者として東京大学で教鞭をとり、後に東京大学総長を務めた人です。

このように学生たちから絶大な信頼を受けていた杉先生でしたが、そうした信頼は学生たちからだけではありませんでした。

教職員からも大きな信頼を受けていたのです。

昭和四年三月の入学試験がすんだあとの懇親会でのことです。その時の卓上演説の折に島田鈞一教授が立ち上がって「一高のために杉さんがいつまでも校長の職を続けていただきたい」と述べたということです。杉先生はただ「ニコニコとそれを聞いておられたのですが、先生はすでに文部省に辞表を提出されていたのです。」

蛙の歌を贈る

このように学生からも教職員からも大きな信頼を受けていた杉先生でしたが、文部省は七月に入つて漸く先生の辞表を受理したのです。

この先生の辞任は、事前に誰にも知らされていなかったただに関係者の間に大きな衝撃が走りました。

学生たちの中には辞任を撤回してほしい、先生が辞めれば今後は誰を師として仰げばよいのかと詰め寄ってくる者もいたようです。

それに対して杉先生は蛙の歌を詠んで学生たち

して政府は治安維持法を制定して弾圧にかかります。学生たちがその弾圧の犠牲になることがあつてはと杉先生は赤化思想の学内への流入を必死で食い止めようとされたのです。しかし、一部の血気にはやる若者たちの頑なな気持ちを覆すことはできなかつたのです。その為、先生にとっては不本意ながら卒業間近な学生を退学処分にはせざるを得なかつたのです。

先生は、未来のある青年たちを退学に追いやつたその責任を取り、誰にも相談することなく三月の卒業式が済むと文部省に辞表を提出したのです。当時の教頭すら知らない間のことでした。文部省は慰留を繰り返したようですが、先生の辞意は固く、許可されたのは辞表を提出してから四か月後の七月になつてからのことでした。

教職員、学生から慕われていた杉先生

杉先生は思想問題から苦渋の思いで数名の学生たちを退学処分にしたのですが、その学生たちの後日譚を守随憲治氏は著書の中で次のように述べています。

「……この時の学生たちもその後社会に出てからの実生活の体験によつて自分自身も分かつてきて、改めて先生の処に詫びに來たさうだ。而してその後、先生の処へ屢々出入りする様になつた。」

学生たちへの厳しい処分だけでなく自らの責任を厳しく問う先生の対応がなかつたとしたら、処

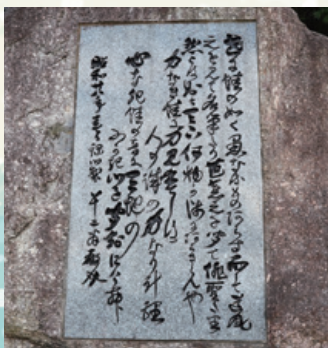
を諭したといわれています。

世に蛙の如く愚かなるものはあらず 而して道風之を見て名筆たり 芭蕉之を聞て俳聖たり 然らば則ち天下何物か師にあらざらんや 力なき蛙に力見出しは人の力の誠なりけり 心なき蛙の音に天地の深き心を聞き知りにけむ

「小野道風は蛙が柳の枝に何度も何度も飛びついている姿を見て己の努力の足りなかつたことを思い、努力に努力を重ねて三蹟の一人に数えられるほどの名筆家になった。芭蕉は古池に飛び込む蛙の音を聞いて天地の理を知り俳風を確立した。このように蛙ですら師となりうるのだ。だとすれば天下のあらゆるものを師とすることができるのだよ」と別れを惜しむ学生たちを諭しておられるのです。

この教育の根幹に迫る教えは、先生の顕彰碑が建てられた時(昭和六十二年)に石碑に刻み込まれ、現在まで大切に伝えられています。

先生は、辞任が許可されて肩の荷が下りたのか次のような歌を詠んでおられます。



周東町の歌碑



寄付金・広告協賛金の御礼

本会報誌は、全て同窓生有志からの寄付金及び広告協賛金で制作いたしました。

これは制作費用のみならず、東京支部の運営費を捻出するという目的があつてのプロジェクトです。総会・懇親会の規模を縮小せずに参加費を値上げしないためには、寄付を募るしかないと考えました。とはいえ、ある程度のボリュームとクオリティーのある会報誌にするためにはそれなりの制作費もかかります。予算70万円に抑えた制作費でも、それだけの寄付が集まるのか不安なまま制作を開始したのです。

おかげさまで、現時点で寄付金 440,000円、広告協賛金 760,000円、合計は 1,200,000円となりました。ご協力いただきました皆さまには、心から御礼申し上げます。東京支部独自の企画制作とはいえ、各地域の同窓会総会参加者及び岩国高校在校生にも送付することから、制作意義にご理解をいただいた岩国本部や関西広島支部の方からもご支援賜りました。重ねて御礼申し上げます。

また、インタビューや対談、寄稿をお願いしました方々におかれましては、お忙しい中ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お話を伺いながら、誇らしい気持ちでいっぱいになり、こうした会報誌を制作してよかったとしみじみ感じております。

総会当日の募金箱設置のほか、ホームページ（現在新規制作中）上でも常時、募金活動は継続させていただき今後の活動の充実を図っていきたいと考えております。2026年第70回東京支部総会において、第2号を発刊する予定です。引き続き、ご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京支部 支部長 仲村 映美

寄付者ご芳名

(卒業年順)

竹山 龍伸さん(昭58)	村本 慎さん(昭29)
草津 忠実さん(昭49)	河村 節子(旧姓・中村)さん(昭30)
宗正 浩志さん(昭55)	八百谷 俊昭さん(昭39)
五反田 強さん(昭36)	尾崎 浩司さん(昭45)
安本 政人さん(昭39)	松浦 喜久子(旧姓・酒井)さん(昭45)
森重 利文さん(昭54)	楊井 浩さん(昭45)
清川 弥生(旧姓・村岡)さん(昭31)	兼近 稔さん(昭48)
松岡 勇孝さん(昭37)	神窪 雅代(旧姓・村上)さん(昭48)
手嶋 良夫さん(昭41)	重村 陽郎さん(昭48)
重本 正明さん(昭49)	白濱 耕一さん(昭48)
匿名(昭49)	松村 紀さん(昭48)
轉 邦彦さん(昭50)	綿屋 勝次さん(昭48)
江岸 賢さん(昭52)	桂 立郎さん(昭49)
藤本 幸一さん(昭52)	堀川 裕一さん(昭49)
黒本 泰子さん(昭56)	重岡 康弘さん(昭52)
河本 信義さん(昭58)	匿名(昭52)
名越 一夫さん(昭58)	米満 圭子(旧姓・山本)さん(昭54)
	山本 弥栄(旧姓・清川)さん(昭56)
	吉浦 千晴(旧姓・河原)さん(昭58)
	坂田 博志さん(昭61)
	嶋田 忠之さん(平6)
	濱安 修さん(平8)



生徒から贈られた全校生徒署名入り屏風

身に負はぬおもき重荷をおろしたる

今日の心の軽さ涼しさ

先生にとって校長職がどんなに重たいものであったかを窺つことのできる歌です。

一方で三十年間務めた二高を去ることのへ一抔の寂しさがあつたようで、次のような歌を詠んでおられます。

三千とせをつとめしふやを今日去れば

勇む心の底に淋しさ

学生から六曲屏風を贈られる

さて、校長職を退任した翌年の三月、杉先生のもとに大変嬉しいものが届きました。一高の在校生八百人の署名が入った六曲屏風です。日ごろ贈り物を一切受け取らなかった先生ですが、この屏風だけは大変喜ばれたようです。そのことは、当時詠まれた数首の歌から窺い知ることができます。

朝夕に千たりの名を読みてあれば

長き春日も短かけり

ある時はありのまにまに楽しんでみて

なからん時は逆さしまにせん

先生は一日に何度も何度も一人一人の名を読み上げ、またある時は逆さから読み上げてお

られたのです。恐らく先生は名を読みながら、一人一人の顔を思い浮かべておられたのだと思います。

千たりの名繰り返へしつつまどろめば

夢は通わむ柏葉の下

めさむれば又も千たりの名を読みて

身は床ながら翻る向つ丘

柏葉とは、当時の一高の校章デザインに使われた柏の葉で、ここでは一高のこと。また向つ丘とは一高のあつた地名です。こうした歌を読むと先生がどれだけ一高とその学生たち一人ひとりを大切にしておられ、この屏風を喜ばれたのがよく分かります。

先生を襲った相次ぐ悲劇

このように名校長の名をほしいまにした杉先生でしたが、一高の教授および校長時代には相次ぐ家庭的悲劇に見舞われていたのです。紙面がつかまりましたので詳細は略しますが、4人の愛娘と奥様を病気のため相次いで黄泉の国へ見送られたのです。

日に一度泣かぬ日はなし朝宵に

えんに座敷にゐても立ちても

めさむれば子らを思ひて元旦の

床の中よりまづ泣きそむる

いつ何時であろうと、また何処にいようと悲しみが押し寄せてくる辛さが伝わってきます。そのつらさ悲しさを抱えて職責を全うされていたのです。

先生の最期

一高退職後の暫くは、毛利家の維新史料編纂委員などを務めておられました。仕事も一段落すると周東町に帰られて、そこでお孫さんたちに囲まれて余生を送られていました。そして昭和三十六年には周東町名誉町民に推挙されましたが、その年の七月老衰のため天国に旅立たれたのです。享年八十九歳でした。その枕元には一高の学生たちから贈られた六曲屏風が立てかけられていたのです。



先生はこの屏風が贈られた時に次のような詩を詠んでおられます。

列なれる千たりの名に守られて

ゆかば冥路も安けからまし

冥路（黄泉路）とはあの世への路のことで、千人の学生たちに守られての旅路はさぞかし安穩であるうとの意味ですが、詠まれた通り多くの学生たちに見送られての安らかな旅立ちでした。

(了)

最晩年床から屏風の中の学生の名を指さす杉先生



漫画家・イラストレーター
新矢りん

少女～女性向け漫画を中心に活動中です

『【急募】猜疑王の契約王妃(※短期のお仕事です)』
1～5巻発売中(以下続刊)
『完璧執事のかわいいひみつ』全2巻
『お嬢さま、ヤンキー執事でございます』全2巻

漫画の他に雑誌表紙やウェディングボードの制作をしています

HPIはこちら

化学分析機器販売コンサルタント
新矢哲康(昭和47年 卒)

信頼のおつきあい

株式会社
東洋地所

代表取締役 長島 友愛 (平成5年卒)
取締役会長 西村 栄時 (昭和34年卒)

山口県岩国市山手町1丁目1-14
Tel : 0827 - 24 - 2468
<https://www.toyojisyo.co.jp/>

関西から岩国を応援! 関西岩国倶楽部

副会長 藤崎 俊彦 (昭和52年卒)

あめつち

www.ametsuchi.gif

あなたを仕事でハナマルに
ハナマルキャリア総合研究所

代表 上田 晶美 (昭和54年卒)

日経新聞『就活のリアル』連載中!

無料でお仕事の相談を承ります。
100人のカウンセラーが
お待ちしております。

<http://hanamaru-souken.com>
ueda@hanamaru-souken.com

草思社
2023年発行

TESRIX
格子型手すり
テスリックス

松屋産業株式会社
741-0092
岩国市多田 3・112・10
T 0827・43・3211
F 0827・43・3213
i@028.co.jp
代表取締役 松塚展門 S44卒

行政書士アルファ法律事務所

相続・遺言・法人設立

東京都墨田区両国4-19-6-101

代表 高橋 まり (昭和52年卒)

TEL 03-6657-5975 EMAIL: office.alfa.147@gmail.com

あなたの暮らしに「ちょっとプラス」な会社
株式会社 WA・ON

「食べることは生きること」
フェーズフリー(防災)、薬膳、食育…
「いつも」も「もしも」も生き抜くチカラを

手軽に衛生的に美味しく作れる
主食、副菜、主菜、汁物、飲み物、スイーツ…
考え方の基本となるフェーズフリーレシピを掲載
東京法令出版より5刷重版出来!!!

講座、講演、ワークショップ、イベント等の講師
レシピ提案、メニュー開発、既存食材の活用相談など
「食」に関するご相談承ります!

オールカラー/A5判/88頁
定価(本体1,200円+税)
ISBN 978-4-8090-3190-8 C0072 ¥1200E

S52 卒業 飯田和子(旧姓 岡田)

88 屋

四国味遍路
はちはちや丸の内店

四国味遍路 はちはちや丸の内店
東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディングB1F
TEL.03-6273-4560
<http://www.88ya.net/marunouchi/>

株式会社 瀬戸内しまなみリーディング
代表取締役社長 宮本 敬治 (昭和54年卒)

建築 BLUE ニューヨーク蔵

いこいと学びの交流テラス

湯田温泉パーク

jma jun mitsui & associates inc. architects

光井純 アンドアソシエーツ 建築設計事務所
代表取締役 光井純

東京本社
〒141-0031 東京都品川区西五反田5-2-4
レキシントン・プラザ西五反田3F
TEL 03-3491-0419 FAX 03-3491-0418

関西オフィス / 西日本・岩国オフィス
www.jma.co.jp

写真提供: (公社) 日本舞踊協会

花柳梨道

Rido Hanayagi

1997年 周防大島生まれ。
東京藝術大学日本舞踊専攻
卒業。主な受賞に新春舞踊
大会大会賞。多くの舞踊公
演の他、NHK大河ドラマ
『鎌倉殿の13人』『どうす
る家康』などに出演。

大田 宙輝
(平成28年卒)
ridopearroad@gmail.com

心から心へ
橋わたし

代表取締役 酒井秀希(昭和60年卒)

酒井酒造株式会社 山口県岩国市中津町1-1-31 TEL0827-21-2177
<https://www.gokyo-sake.co.jp/> お酒は20歳になってから。

HIKARI SOGOH LAW OFFICES

ひかり総合法律事務所

弁護士 武田昇平 (平成11年卒)

〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-3-22
第一秋山ビルディング6階

TEL 03-3597-8701
E-mail: takeda@hikari-law.com
HP: <http://www.hikari-law.com/>

保険を、
自由に、
正直に。



トータルライフデザインは「保険を、自由に、正直に」というスローガンのもと生命保険・損害保険の代理店として、保険内容の組み合わせなどの見直しによる固定費削減の提案、IFAによる積立NISAなど証券投資や代理店ならではの様々な保険を活用した資産形成の提案を得意としています。オーナー経営者様のお客様も多く、相続対策のご相談や無料ファイナンシャルプランナー相談、税務や法律の専門家の紹介、キャッシュフロー表の無料作成などの顧客サービスが好評をいただいています。オーナー経営者様の場合は事業承継時には大きな資金が必要になる場面を想定し、最適な提案を行います。保険商品はご加入後から真のお付き合いが始まります。トータルライフデザインは、皆様いつでも安心してご相談いただける生涯のパートナーとなることをお約束します。



株式会社 Total Life Design

東京第3支店長
藏田 尚哉 / 平成19年卒
naoya.kurata@tldesign.co.jp

弁護士 向 宣明 (昭和63年卒)

Mukai Nobuaki

ニューヨーク州弁護士登録
弁理士
博士(経営法)
(一橋大学大学院国際企業戦略研究科)

一橋大学大学院法学研究科ビジネスロー専攻客員教授
立命館大学法科大学院 非常勤講師

【書籍紹介】

『独占禁止法 ビジネスに活かす事案からの教訓』
中央経済社 / 2024年9月刊行
共著 向 宣明 (弁護士)
南部利之 (元公正取引委員会審査局長)

桃尾・松尾・難波法律事務所

東京都千代田区麹町4-1 麹町ダイヤモンドビル

Tel : 03 - 3288 - 2080

Email : mukai@mmn-law.gr.jp

https : //www.mmn-law.gr.jp/



山口県岩国市観光大使
ジェームス Jr. (元保護犬)

飼主・高谷美和 (旧姓 藤川) 昭和57年卒

京都市右京区嵯峨中山町 2 6 - 1

TEL:090-1018-3212



オンラインショップ



Blog



YouTube

動物愛護義援金活動キャラクター
京都・嵯峨商店街広報大使

いい水、いい空気
いかがですか？



給排水設備・空調設備工事



株式会社 大嶋商会

代表取締役 鎌田 俊樹 (昭和 48 年卒)

山口県岩国市麻里布町1-8-33

TEL : 0827-21-5111 FAX : 0827-21-5119



IWAKO

Iwakuni High School Alumni Association

